

ESD活動支援センター(地方・全国)活動状況等一覧(2021年5月現在)

資料1付表①

	開設	体制基盤	情報基盤・発信	2021年度実施状況									
				委員会	事業	連携							
ESD活動支援センター名称	①開設 ②ウェブサイトオープン	委員会名称(委員人数)	①実質的センター業務責任者 ②担当窓口	電話回線開設(予定)	ウェブサイト用固定IP取得(予定)	リーフレット(パンフレット)印刷(予定) ①センター専用/EPO・センター合同の別 ②発行日 ③部数 ④増刷(予定)日・増刷部数	メールマガジン・メールニュース ①形態 ②頻度 ③発行部数	SNS活用 ①種別 (facebook, Twitter, Instagram等) ②フォロワー件数(種別ごと)	第1回日程 第2回日程 (あれば第3回日程)	地域フォーラム等	その他主要事業	連携予定の組織・団体、ネットワーク等(文部科学省令和3年度SDGs達成のための担い手育成(ESD)推進事業実施団体との連携含む)	その他特記事項等
近畿地方ESD活動支援センター	①②平成29年7月28日(金)	近畿地方ESD活動支援センター企画運営委員会(10名)	①上野浩文(事業統括) ②藤田尚典、中澤敦子	済	なし(検討予定)	①センター専用 ②2019年3月 ③1,500部 ④予定なし	ESDセンターとしてはなし(イベント告知はEPOメールマガにて発信可)	—	第1回 5月14日 第2回 未定	近畿ESDフォーラム2021年度(2022年1月頃、大阪市・オンラインの併用想定) ○対象:主な参加者は、学校、自治体、拠点(企業)○ねらい: ・参加者のESDの理解を深める。 ・学校における「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた外部連携のあり方を考える。(地域資源を活用した授業の有用性) ・学校・自治体・拠点の連携による持続可能な地域の担い手の育成の具体例を示す。(地域課題の解決に向けた具体的な学び・実践例、地域に対する愛着と誇りの醸成につながる学び・実践例、地域における多様な主体間のつながりづくりの例) ・分科会活動成果を紹介	ESD活動に関する相談・支援 ・地方センターWebサイトのコンテンツ等の作成、運用等 ・域内外の多様な主体の連携促進、交流の機会の提供(分科会活動) ・地域でESDを推進する拠点のニーズの把握 ・その他全国センターとの連携、地域ESD拠点等の活動支援	○地域ESD拠点との連携 近畿ESDコンソーシアム(「ESDサポータープログラムの開発」)、花エコラボミュージアム(分科会実践者/調整中)、森と水の源流館(分科会/調整中)、箕面ユネスコ協会(取材)、箕面森林ふれあい推進センター、大阪環境カウンセラー協会 ○地域ESD拠点以外の組織・団体との連携 大阪府立環境農林水産総合研究所・生物多様性センターおよび長浜市立余呉小中学校(連携授業の支援等) 奈良市立平城小学校(授業支援)	・近畿2府4県4政令市の環境部局および教育委員会の環境教育/ESD担当者への訪問・情報交換予定(電話での挨拶済、毎年実施)
中国地方ESD活動支援センター	①②平成29年7月1日(土)	中国地方ESD活動支援企画運営委員会(11名)	①松原裕樹 ②濱長真紀	済	済	①EPO・センター合同 ②2017/12/18 ③3,000部 ④予定なし	①メールマガジン(EPO・ESDセンター合同) ②2月2回発行 ③934部	①facebookページ ②253名	第1回 2021年5月28日(金) 第2回 2022年2月予定	①ESD学びあいフォーラム「(仮)新聞から読みとくSDGs-知る、深める、伝える-」(2021年9-11月開催予定@島根県松江市) ②ESD分科会「学校のエネルギーマネジメント(仮称)」(2021年7-12月開催予定@島根県) ③SDGsビジネスセレクトブック制作プロジェクトの水平展開に向けた情報発信 ・大学生のSDGs勉強会(2021年6月27日(日)@広島県広島市) ・企業等への訪問、取材(2021年7-9月) ・掲載原稿の作成、Webサイト掲載(2021年10月-) ・ひろしまSDGsフォーラム(仮称)(2021年12月)	・相談対応 ・情報収集、発信 ・地域ESD拠点の登録支援 ・地域ESD拠点の活動支援(機能強化、活動状況や水平展開の可能性ヒアリング、水平展開に向けた支援) →島根県立しまね海洋館アクアス、山口県ひとりづくり財団等 ・その他、ESD関連イベント・会議等への出席	中国5県の中間支援組織(NPO支援センター、環境学習センター、温暖化防止活動推進センター等)/広島県/JICA中国/国立広島大学/広島県立広島女子大学/広島経済大学/広島修道大学/進徳女子高等学校/広島市立吉島中学校/山陰中央新報社/新日本海新聞社/山陽新聞社/中国新聞社/朝日新聞社(CSR推進部)/日本NIE学会/広島県NIE推進協議会/HIROSHIMA FACTORY	①四国地方ESDセンターとの連携 ・四国ESDセンター運営委員会出席(日時未定)
四国地方ESD活動支援センター	①平成29年7月1日(土) ②平成29年7月3日(月)	四国ESD活動支援センター運営委員会(11名)	○センター長:近森憲助 ①統括:竹内よし子 ②事務局長:宇賀神幸恵、事務局:菟田裕一、矢野雅彦	済	なし	①センター専用 ②平成29年10月より印刷開始 ③7,000部	①センター専用 ②2月1回発行(平成29年11月より開始)	①facebook(四国EPOのアカウントで投稿) ②644件(四国EPOフォロアー)	第1回 6月予定 第2回 2~3月予定	・ESDセンター分科会勉強会 全3回 未定 ・四国ESDフォーラム2022 2月予定 ・ESD全国フォーラム 12月予定	・ESDバーチャル大学(第1回:ESD国内実施計画パブコメ勉強会(四国)5月1日(土)) ・地域ESD拠点交流会 ・かがわ国際フェスタ出展 10月予定 ・ESD活動に関する相談・支援 ・ESD活動に関する国内外の情報収集・発信(ホームページ記事掲載、メールマガジン・フェイスブック配信)	・新居浜市教育委員会・ESD推進事業協議会 ・宇和島NPOセンターとの連携(企画運営アドバイザー) ・松山市(SDGs連携) ・愛大・ESDラボ(愛媛大学) ・日本ESD学会 ・四国四県の大学 ・ローカルSDGs四国(LS四国)との連動による分科会活動 ・その他登録拠点	・RNC西日本放送ラジオ出演(月1回)による情報提供 ・中国四国ESDセンター協働・相互参照(イベント相互視察、運営委員会出席) ・香川県立高松高等学校講演(講師協力) ・香川県立高松西高等学校講演(講師協力) ・高松大学講演(講師協力) ・東かがわ市小学校講演(講師協力)
九州地方ESD活動支援センター	①②平成29年7月1日(土)	九州地方ESD活動支援センター企画運営委員会(EPO九州運営委員会の分科会)	①澤克彦 ②勝家伸男、長峰秀幸、坂本紀子	済	済	①EPO・センター兼用 ②R.3.30 ③4,000部	①EPO九州メルマガの一部 ②2月2回発行 ③約700件	①Facebook ②496 ①instagram ②88	第1回6月3日予定 第2回 未定	地域学び合いフォーラム: 第三四半期、大分県開催予定。 地域ESD拠点、実践者と連携	●九州沖縄地域ESD推進計画(仮称)の策定 担当官協議の上、企画運営委員会に計画を提案。 島嶼地域、自然拠点関係者との対話の場を経て、左記フォーラムにおいて計画を提示し、多様な主体を交えた意見交換を行う。 以上の経過を経て第二回企画運営委員会で報告する。	●全国センターフォーラム分科会 ・熊本市立城南中学校 ・熊本市教育委員会 ・地域内ESD有識者 ・地域コーディネーター ・地域ESD拠点  ●地域ESD実践者 ・大牟田市教育委員会 ・地域高等学校関係者及びユース(SDGs研修等) ・地域ESD拠点	各学校現場における相談対応、研修対応等。
ESD活動支援センター(全国センター)	①②平成28年4月22日(金)	ESD活動支援企画運営委員会(11名)	①大西亮真 ②川村研治	済	済	①センター専用 ②新たに制作予定	なし	①Facebook ②851 ①Twitter ②222	第1回 6~7月(日程調整中) 第2回 2022年2月予定	●ESD推進ネットワーク全国フォーラム2021【開催日】2021年12月10日(金)、11日(土) 【会場】国立オリンピック記念青少年総合センター(※オンラインの可能性あり) 【参加者数】200名(予定)	●ESD活動に関する相談・支援 ●ESD活動に関する国内外の情報収集・発信 ●ESD推進ネットワークの形成・強化支援、可視化(地域ESD拠点の登録事務連絡調整(通年)、年次アンケート調査等) ●全国規模のESD推進団体との協力関係構築 ●ESD関連行事への後援(通年) ●ESD推進ネットワークを活用した体験の機会の場の拡充 ●地域循環共生圏の担い手となる人づくりへの対応  ●ネットワーク可視化タスクフォースの運営 ●ESD活動支援センター(全国・地方)の連絡・調整		

1	2	3	4	5	6	7	4	5	6	7	8
情報提供・交換	施設・資材貸与	広報協力	マネジメント支援	事業協力	後援	共催	マネジメント支援	事業協力	後援	共催	資金補助・委託

11 戦略協働 戦略協働 共有目的を実現するために戦略的に協働(戦略会議など)を行う形態 \*  
12 政策協働 政策協働 共有目的を実現するために行政と政策的に協働(政策提案など)を行う形態 \*